

# 平成24年度 荒尾市の決算

市の財政の決算状況について報告します。  
 財政局課財政係 ☎ 63-1289

## 一般会計 収支の状況

一般会計決算額は、歳入が189億1,938万円(対前年度比16.6%減)、歳出が183億5,266万円(対前年度比18.0%減)で、差し引き5億6,672万円の黒字になりました。そのうち1億1,108万円は、平成25年度に行う事業の費用として必要なので、実質的な収支では、4億5,564万円の黒字となりました。

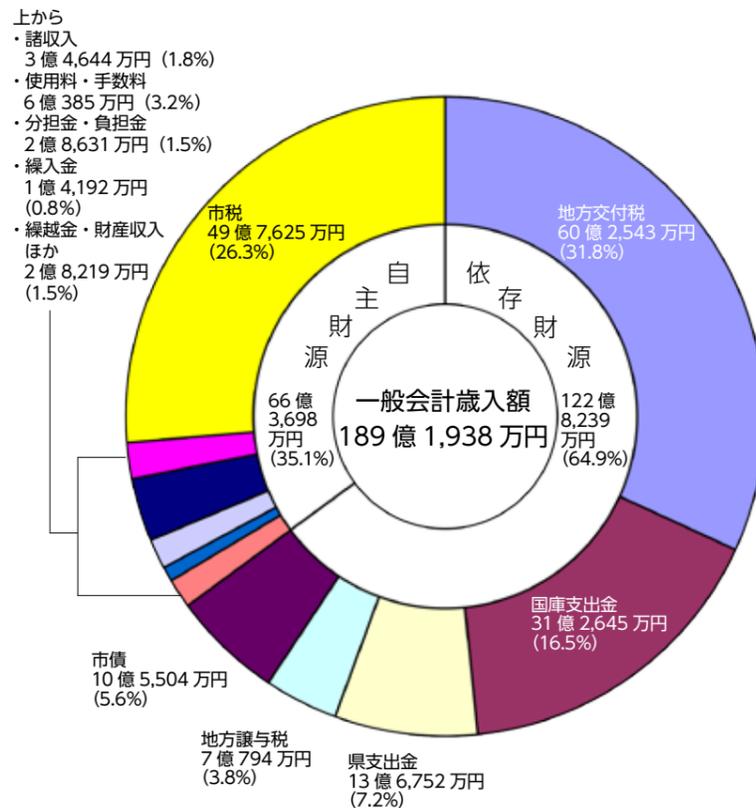
また、基金(市の貯金)に5億2,883万円積み立て、基金から1億4,192万円繰り入れました。その結果、平成24年度末の基金の合計は44億9,318万円になりました。(出納整理期間を含む)

## 歳入の決算状況

### 【歳入の決算状況】

自主財源(市が自主的に収入できるお金)の合計は66億3,698万円で、歳入の35.1%です。このうち市税や固定資産税などの市税が49億7,625万円で歳入の26.3%です。一方、依存財源(国や県によって額が決められ、交付されたり割り当てられたりするお金)の合計は122億8,239万円で、歳入の64.9%を占めています。このうち地方交付税が60億2,543万円で、歳入の31.8%です。

自主財源よりも依存財源が占める割合が高い決算状況であるため、地方交付税の動向や国庫補助負担金の増減など、国の施策に大きな影響を受けます。このことから、行政活動の自主性と安定性に欠ける面があるということも考慮した行政運営が必要になります。

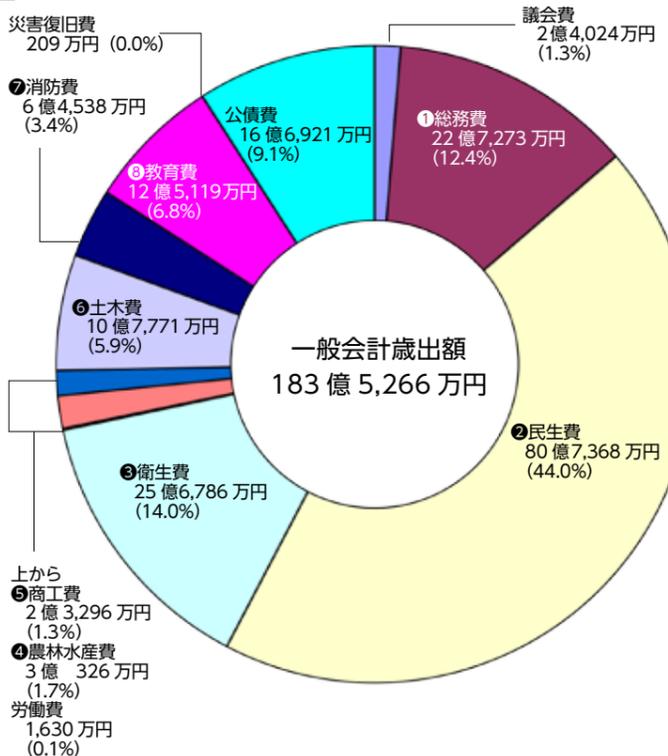


## 決算とは

4月～翌年3月を一区切りとして、市にどのくらいの収入があり、そのお金をどのように使ったのかをまとめた家計簿です。市では決算特別委員会などで詳しく審議された後、12月に市議会で認定を受ける予定です。

※グラフや表の金額は全て1万円未満を切り捨てて表記していますので、合計と合わない場合があります。また、割合は四捨五入していますので、合計が100%にならない場合があります。

## 歳出の決算状況



## 平成24年度は主にこんな事業に使いました

① 総務費	市役所での一般管理事務費	10億2,831万円
	荒尾競馬対策にかかる経費	1億3,706万円
	市制施行70周年記念にかかる事業費	393万円
	市税の賦課徴収等税務にかかる事業費	2億2,306万円
	戸籍住民基本台帳にかかる事業費	1億337万円
	衆議院議員選挙・最高裁判官国民審査などの選挙にかかる経費	3,456万円
	経済センサスなどの統計調査にかかる費用	1,504万円
② 民生費	国民健康保険特別会計への繰出金	5億4,781万円
	介護保険特別会計への繰出金	7億3,029万円
	後期高齢者医療特別会計への繰出金	1億8,932万円
	老人ホームにかかる経費	1億9,178万円
	障害者自立支援給付費	10億3,349万円
	ファミリーサポートセンターや乳幼児医療費などの子育て支援にかかる経費	5億6,211万円
	管内外私立・管外公立保育園を運営する負担金	9億6,161万円
	子ども手当・児童手当の支給にかかる経費	9億5,240万円
	市立保育園を運営する経費	1億4,153万円
	生活保護にかかる経費	15億1,852万円
③ 衛生費	感染症などの病気を予防する経費	1億4,297万円
	母子保健や乳幼児健診などにかかる経費	4,676万円
	がん検診など健康増進にかかる経費	4,135万円
	ごみの収集・処理にかかる費用	9億6,941万円
	し尿の収集・処理にかかる費用	3億259万円
	市民病院への支出金	7億222万円
	水道事業への支出金	1億388万円
④ 農林水産費	農家育成や農業振興のための経費	1,026万円
	農道や水路の整備などを推進する経費	1億5,936万円
	水産業振興にかかる経費	2,970万円
⑤ 商工費	商工振興にかかる費用	7,148万円
	観光事業にかかる経費	3,095万円
	企業の誘致促進のための費用	5,107万円
⑥ 土木費	道路の維持補修にかかる費用	1億1,021万円
	道路の新設改良にかかる費用	1億8,436万円
	公共下水道事業会計への支出	4億886万円
	市営住宅の建設、維持管理にかかる経費	1億4,309万円
⑦ 消防費	有明広域消防組合への負担金	5億7,471万円
	消防活動などの支援やポンプ車などを整備するための経費	6,588万円
	防災や災害対策のための経費	478万円
⑧ 教育費	幼稚園就園奨励費	7,052万円
	小・中学校の防水補修など施設補修にかかる費用	4,051万円
	小・中学校の新築改修にかかる費用	1億8,872万円
	小学校10校の管理運営にかかる費用	1億6,685万円
	中学校3校の管理運営にかかる費用	8,112万円
	万田坑の保存活用と世界遺産登録推進にかかる費用	4,397万円
	運動公園などの体育施設の管理運営費	3,908万円
	学校給食を行うための経費	1億6,659万円
公債費	借入金の元金返済にかかる費用	14億2,826万円
	借入金の利子にかかる費用	2億4,094万円

## 積立基金現在高と市債の残高の推移

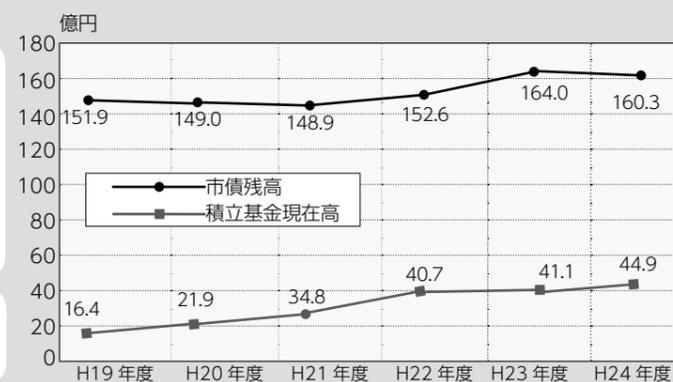
### 積立基金とは

災害復旧など臨時の支出や経済事情の変動などで収入(歳入)が足りないときに取り崩します。

### 市債とは

公共施設の整備や公営企業など法律に定められた事業のための経費となる財源です。地方債の元利償還金という形で将来の住民の負担になるので、借り入れには十分気をつけています。

市民1人(平成25年3月末・5万5,381人)当たりになると  
 積立基金(貯金) 8万1,132円  
 市債(借金) 28万9,438円



## 歳出歳入額の推移

